

紙製容器包装

3R改善事例集 第2版



平成20年12月

紙製容器包装リサイクル推進協議会

「紙製容器包装 3 R 改善事例集 第 2 版」の発行に当って

平成 18 年 6 月に成立・公布された「改正容器包装リサイクル法」では、効果的な 3 R の推進、リサイクルに要する社会全体のコストの効率化、主体間の連携がポイントとされています。平成 17 年 10 月の日本経団連「実効ある容器包装リサイクル制度の構築に向けて」の提言を受けて、事業者は「3 R 推進団体連絡会」を結成し、容器包装の素材グループごとに自主行動計画を策定し、容器包装の 3 R 推進に一層努力することの重要性を表明しました。

当推進協議会では自主行動計画の遂行の一環として、実績を上げている各社の成果を波及させ業界全体のレベルアップを図るために、紙製容器包装に関わる 3 R 改善事例集を昨年度発行しております。今年度は新しい事例を追加する形式で第 2 版を制作いたしました。

容器包装 3 R の取組みは、資源の有効な利用や環境負荷の軽減といった側面と共に、コストダウンや企業価値の改善に繋がり、又そのような商品の提供や情報交換により消費者との連携を深める効果も期待されます。

今回も収集に当っては、環境配慮に関してできるだけ広範囲にわたる 3 R 事例が対象となるよう心掛けました。3 R 事例というと先ず軽量化・薄肉化などを思い浮かべますが、それ以外にも様々な手法や試みが行われていることがご理解いただけたと思います。

お客様まで中身商品を安全に、品質を保ってお届けすることと、必要な商品情報を正確に伝えることが容器包装の最優先の機能ではありますが、その上で、個々の容器包装でどのような環境配慮が可能であるかを検討し実行することが求められます。

各社、各団体におかれまして、本誌が更なる 3 R の推進にご活用いただければ幸いです。

平成 20 年 12 月
紙製容器包装リサイクル推進協議会

目次

1 平成20年版 紙製容器包装3R事例	ページ
(1) リデュース事例	2～
(2) リサイクル事例	11～
(3) 環境配慮全般事例	17～
2 平成19年版 紙製容器包装3R事例	
(1) リデュース事例	22～
(2) リサイクル事例	38～
(3) 環境配慮全般事例	49～
3 アルミ付き飲料用紙パックリサイクルに向けて	59
■総務委員会 編集委員名簿	60

平成20年度版 3R改善事例



平成20年度 リデュース事例

該当事項	No	事例名	会社名	ページ
軽量化	1	「ふんわりニュービーズ1. 1kg」	花王(株)	3
	2	「生チョコがおいしいアイスバー」	オハヨー乳業(株) / (社)日本乳業協会	3
	3	「モナ王バニラ マルチパック」	(株)ロッテ	4
	4	「ほんだし®120g箱」	味の素(株)	4
	5	「銀座カリー」	明治製菓(株)	5
	6	「げんきなトーマスとなかまたち」	(株)バンダイ	5
	7	「スマイルコンタクト」	ライオン(株)	6
	8	「パリパリバー(マルチパック)」	森永製菓(株)	6
	9	「アジシオ®300g袋」	味の素(株)	7
	10	「森永小枝チョコレート(スティックタイプ)」	森永製菓(株)	7
	11	「クリスマスケーキ箱」	山崎製パン(株)	8
簡素化	12	「ポッシュママ ハンドソープ」	(株)ヤクルト本社	8
	13	「エンジンソウルタブレット2」	(株)バンダイ	9
	14	「ビフィーネS、ビフィーネV、プレティオ」	(株)ヤクルト本社	9
	15	「即席メン用カップふた材」	東洋水産(株) / 共同印刷(株)	10
中身の改良	16	「アーモンドプレミオ」	江崎グリコ(株)	10

《リデュース事例》

「リデュースとは、ごみを減らすこと、出さないように工夫すること」です。

この目的に向けて取り組んだ事例を掲載します。

＜軽量化＞ :主に「展開面積の縮小」、「用紙坪量のゲージダウン」などが該当

＜簡素化＞ :主に「包装構成要素の統合による要素削除」「包装構成要素の一部廃止」などが該当

＜中身の改良＞:主に「中身商品の改善により容器包装の軽量化、簡素化が図れた」などが該当

《用語》

＜坪量＞ :紙の単位面積当たりの重さ g/m²

＜斤量＞ :「指定寸法に仕立てた紙1,000枚の重さ(kg)」（板紙の場合は100枚）